（明治四十三年三月十日第三種郵便物認可）月曜日及大祭日の翌日休刊（日刊）明治四十三年三月十五日（火曜日）第三百五十七號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲新報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

滿洲小麥の輸出

北滿洲[illegible]なる小麥は日露役以後に至り漸く歐洲市場に輸出さるゝに至りたれど昨年は專ら露國商人の手に依り浦鹽より我國等へ一二千噸の輸出をなせしに過ぎざりしも昨年米國小麥の不作は歐洲市場の小麥價格を暴騰せしめ爲めに結果三井物產會社は逸早く滿洲小麥の歐洲輸出を企て昨年中に於ける輸出高のみにても既に八千噸に達し露國に輸出したる額も亦尠からず之に露國商人の輸出したる分を加ふるときは昨年中に於ける滿洲小麥輸出高は一萬二三千噸に上るべく滿洲小麥開闢以來未曾有の盛況を示せり而して本年に入りても三井の手に依りて輸出したる額は已に五千噸に上り內國へも二千噸の輸入をなし尙ほ目下浦鹽よりパアレン號にて三千噸の積出を急ぎつゝありと云へば新麥の出廻り季までには尙二萬噸內外の輸出あるべく我國へも本月末の便船にて二千噸許り輸入さるゝ筈なるが滿洲小麥の品質は米國麥に比して色黑けれど粘力あり且つ味美にして麵類麩等の原料として適當なりとて一般に賞用され其價格も目下百斤四圓八十錢石に換算して十一圓六十錢內外なれば日本小麥の十二圓八九十錢なるに比すれば著しく廉價なりと云ふ

河南大豆と大連

獨逸が極東の經營特に膠州灣の經營に向つて苦心しつゝあるは內外人共に認むる所なるが青島港灣の修築、山東省內鐵道の經營、青島大學の開設等總ての方面に向つて着々其の歩を進めつゝあり或はいふ獨逸の山東省經營は經濟的に大失敗にて青島に於ける經營者は常に本國より非難を受けつゝありと然るに昨今耳にする所によれば青、濟鐵道を利用し青島港の盛大を計らん爲黃河の便を利用して河南省產の大豆を青島港より海外に輸出する計畫なりと由來河南省の平原に產する大豆は曾て日露戰爭に際し牛莊より滿洲大豆の輸出閉止の際漢口を經て日本に輸出せられたる事ありその品質は多少滿洲產よりも劣等なれどその價低廉にして優に滿洲產大豆と競爭を爲し得るも如何せん運賃の違によりて海外輸出の競爭に堪へ得ざりしものなるが今後青島を經て輸出を爲すに至らば奉天以北の大豆と大連より輸出するよりも運賃に於て優に十五パアセントの減少となれば大連と競爭して勝算十分なりと云ふ且大豆の品質も需要の增加と共に漸次改良を加へらるゝは當然にして此の計畫にして實行せらるゝ時は大連貿易に大影響を受くるに至る可きか

京義線暴徒詳報

京義線鷄井驛附近に現はれたる賊徒に關し軍司令部に達したる詳報如左

賊は首魁李鎭龍、韓爾貞の率うる八十餘名の集團にして二隊となり二月三日午後一時鷄井驛西北一里の堂洞に集合せり先是溫井院分遣所上等兵以下六名は搜索行動中前記の時刻に堂洞に於て賊團と衝突交戰三十分にして一旦鷄井驛に引揚げ應援を求め開城憲兵隊よりは下士以下九名を三時十分發列車にて出張せしめ更に補助員三名を增加し長端分遣所よりは上等兵一出張せり斯くて增援せる下士以下九名は岑城の西方一里の地點に於て賊と衝突之れを擊退し賊は二隊となり逃走せしが我增援隊の來援を妨害する目的を以て鷄井北方一里の鐵道線路に石を置き北方列車の脫線を計りたり（既報）同夜賊團は兩合里の南方一里の地に宿泊中兩合里分遣所憲兵四名は之れを夜襲し賊十を殪し銃五刀一を鹵獲し賊は市邊里新溪間の地區に潜伏せり其後賊は憲兵隊、守備隊、警察署より出せる連合捜索隊に追はれ五十名に減じ五日午後四時岐灘（平山新溪の中間）を兎山郡に向ひ逃走し我搜索隊は三隊に分れて追跡せしが八里迄に達せる情報を綜合するに賊は新溪若くは谷山方面に遁れしものゝ如しと

江原道の情況

江原道三涉管區長よりの報告に依れば同地方一般の情況左の如し

△賊情　賊魁鄭敬泰は目下二十餘名の部下を率ひて各兵器を所持し蔚珍郡の西部及び英陽奉化縣地方に出沒し彼の部下は三四名宛に分れて民財を刼掠しつゝあり故に蔚珍の西部及び英陽奉化郡地方は今猶は不穩にして此地方は賊徒の勢力範圍たるが如く土民は官憲に賊情を密告せざるのみならず其被害の屆出すら尋常になさず其爲め捜索は非常に困難なり而して是れ必ずしも官憲を嫌厭してなさゞるにあらず賊徒の復仇を恐るゝ故なり土民は常に曰く「憲兵に密告を云ふも唯言語を以て叱責せらるゝに過ぎず賊徒に至りては直ちに殺害せらるゝ恐れあり」と以て其の民情も賊徒の獰猛なるを知るべきなり二月二十五日蔚珍分遣所の討伐隊は賊魁鄭敬泰が蔚珍郡西面の高山に潜伏することを偵知したるを以て直ちに逮捕に向ひ急襲して賊二名を殪したるも鄭は未だ縛に就かず聞く所に依れば昨年十二月二十六日賊魁申大龍を逮捕したる際鄭敬泰は逃走して武隊左手に負傷し治療の爲め從事[illegible]所に潜伏して居たるなりと云ふ

▲納税情態　二月末までに財務署へ納金したるは酒税四分の一、烟草税六分の一、地税十分の一にして本年度納税期なるにも拘はらず不成績なること驚くの外なく尤も人民は既に納附したるものも多きが如し徴税の方法は市場に監理人を置き之を巡回せしめて徴收するを以て商民は監理人の目を窃みて脫税する者多く徴收方法を改正するにあらざれば不行屆たるを免かれず

▲宗教情態　此地方は以前佛教の盛なりし所にして寺院の如きも現に六個ありと雖も今は信徒なる者殆んどなく之に反して耶蘇教は漸次各地に瀰漫し管內に於ける信徒は昨年三月に比して七十八人を增加し宣教師は米國人の由なるも未だ來らず若し愈々來りて布教に從事せば其勢力を得ること今より想像に餘りあり

地方通信

▲平壤通信

▲平壤義勇團調査　過般當地に福島將軍來壤の節其歡迎上に於て偶々日露戰爭の初期に於ける當地義勇團の件に付き談あり且つ當時の紀念として撮影せし團員の寫眞及び其歷史等種々の紀念物を佐々木芳槻氏より將軍に贈呈する所ありしが福島將軍は今回歸任後平壤義勇團の事につき種々斡旋せられし所によるか此程外務省より統監府に對し電報を以て該義勇團の調徵方を命じ來りたるを以て統監府にては直ちに之れを當理事廳に移牒したり又當理事廳よりは當民團役所に其取調方を依頼したるを以て民團役所にては當時團員の一人にして能く其事情に通せる佐佐木芳松氏に就き昨日詳細取調べんとしたるも佐々木氏は丸當時義勇團長として該團一切の任に當りたる眞藤氏を取調ぶるの至當なるを主唱し其取調方擔當の民團吏をして眞藤氏方に赴かしめたるを以て目下眞藤氏に就き當時の事項を取調べつゝありと

▲南浦の水道事業　鎭南浦の水道事業については其の設計も漸く切り詰めに切詰めて總額約八十四萬六千圓と定めたるが同水源地なる三和郡の約一里上方なり南浦に至る延長は千七百八十メートル[illegible]の高さ海拔百五十尺餘とし鐵管の口徑は尺三寸より八寸位とし三和の水源地より自然勾配に依て流下せしむべき計畫なり今この計畫を南浦の人口約三千有餘の現狀より打算すれば韓國政府の補給は前記總豫算の四分の三を申請し其四分の一を市民が負擔するより外に策なからんとのことなり

▲平壤驛前月の乘降數　平壤停車場に於ける前月中の旅客乘車數は四千八百十四人にして又降車人員は四千七百十六名なり尙ほ入場券發賣數は二千七枚にして之れが收入總計金額は九百六圓七十四錢なりといふ

▲平壤驛小荷物月報　二月中の客小荷物の統計を擧ぐれば[illegible]千五百二十八斤にして[illegible]十八斤なるが其の中有賃九千九百八十五斤無賃荷五斤にして其收入金額二千三十錢なりといふ

日本銘[illegible]

第六十六席

ソコで老人答へるには
ころチヤア家は定め
ますが、イエ斯うやつ
來るかも知れません
處にゐるだらふか

彼奴は堤下の勘太のところにでもゐるかなア　老「アー先づ彼處等に潜つてゐるかも知れない……れ客さま此れから半里ばかり行くと堤下と申す其處の勘太といふ、此りやア破落漢でございまする、其處の家にゐるかも知れません　眞「アー然やうでございますか」ト祐眞は頭の中に此りや三郎が此の邊にゐるのだ、丁度祐眞の十七回忌を濟まして歸り道に此の話しを聞くのも、我が思ひつめた仇討ちをしてやる時節到來かも知れない、此の上からは確かに此方容子を探つて仇敵を打てるものなら打つて立ち歸りたいと此れからいたして彌よ茶見世を立ち出でまして、高邊と種々話してくれる、ソコで祐眞祐寶廣光が彌よ夫れに相違ないといふので眞「夫れでは、此處を出立て兎もあれ甲州まで行かふ只今此處で迚も仇敵討ちは出來ない、先方は堤下の勘太といふ惡漢の許にゐるやうでは、何れ先方も夫れだけの又た覺悟をしてゐるだらうしなまじなことをして仕損ずるやうなことがあつては成らないから、甲州の白澤まで行けば、私の許へ八年ほど、門人になつてをつた祐行がゐる、是れも今は銃を鍛へたり鎌を打つたりして先づ尋常の鍛冶職では居るが、尋常の鍛冶職とは違ふ、實意のある者だから此の祐行の所へ參りませう、而して祐行

夫りやア爺さんの前だが尋常の渡業をしてさへ遣りきれねへ夫れだのを己れたちのやうに天下の往來を横に行かうといふのは、迚も遣りきれるものヂヤアない、夫れだから今ぢやア美味へ酒の一杯も飲めねへやうになつちまつた……一杯茶を飲ませねへ　爺「サア此れ飲んなさい……時に三郎さん只今何でも容子を見るのに武士ではなし、と言つて町人でもない三人連れが、れ前の話しが出たんで大變に根掘り葉掘りして聞いて往つたで　三「ふうん何んな人物だ　爺「一人は十七八にも成らふかといふ若衆だ、一人は三十六七にも成らふか、一人は五十、然やうさ四五ぐらゐの人だらふ　三「フウーン夫れでナニか何んなだい人体は　爺「五十四のが人物は宜い人だ、背な惡くはないが丁度右の方の眉毛の上に赤い大きな黑子のある人だ、黑い黑子といふなあ離れにもあるが、恐ろしい赤い黑子のある人で好い人物だ　三「エー然うかい、此いつは巳れのことを念を入れて聞くなら、事によつたら鎌倉の祐賓ぢやアね、何とか名前を言

東京電報

▲日露連絡の會議

日露連絡貨物會議は愈五月上旬開會に決し鐵道院よりは藤田部長病氣全快次第理事及び關鐵理事を隨へ露都に赴くべく各種貨物貨率は既に日本側の具体的案脱稿せり（十三日）

▲大演習地の決定

今秋の陸軍特別大演習は愈よ來十月上旬岡山縣に於て擧行の上に決定し奥參謀總長より各師團長に内達ありたるが東軍司令官は教育總監大島大將西軍司令官は東京衛戍總督川村大將に決定したりと（同上）

▲又新會の現狀維持

國民黨に投じたる以外の又新會代議士は十九名にて内山口熊野、小川平吉の二氏は近々政友會に入黨すべく殘余十七名は花井卓藏、加瀬禧逸氏等を中心として又新會の名稱の下に現狀を維持することに決定したり（同上）

▲貴族院選擧法改正

曾我祐準子爵は伯子男爵議員選擧法に單記制を採用すべしとの建議案を提出せり（同上）

▲鐵道院の貨物規定

鐵道院にては今回貨物種類を總て重屯二千二百四十貫にて採用することに決し四月一日より實施する筈なり（同上）

▲漁夫の行衛不明

東京地方にては十二日晩三時頃より降雪あり六時頃には三寸計りの積雪を見たるが七時頃に至り近來稀なる吹雪となり一時電車の運轉を中止したるが正午頃より小歇となりたるも電信電話には多少の被害ありたり尙ほ同日房總沖の暴風雨には同日出漁中の漁船百三十艘乘込の漁夫六百餘名は行衛不明となり其の筋にては急報に接し水雷艇四艘其の他多數の漁船を急派し搜索中なり（同上）

▲貴族院議長交際費

貴族院議長交際費二萬五千圓は前田子爵の發議にて桂首相の同意を得て十四名の相談役を置き交際費を要する問題の發生毎に協議決定のことに決定したり（同上）

▲五百木良三氏渡韓

朝鮮問題同志會員五百木良三氏は十三日午後二時半新橋發京城に急行せり（同上）

▲倉谷鑛山の椿事

石川縣鹿川村字倉谷地方は積雪數尺に達し倉谷鑛山の飯場一棟俄然雪崩の爲めに崩壞し坑夫二十四名埋沒したるが直に堀り出したり男女合せて十三名即死し他は重傷を被れり（十四日）

歐洲電報

▲露國海軍の醜態

露國海軍の醜狀は又もや暴露されたり即ち海軍造船所オブスラ製砲所及イブヴオルスク裝甲板製造所と更に整頓せしむべく九百萬留を要求せる海軍大臣の豫算議會に提出されたるが之に依る時は右工場は現狀の下に在りては四隻のドレツトノート型戰闘艦を竣工せしむる能はざるを示せり總理大臣ストリピン伯は始め右四艦を四箇年に竣成せしむるを約したるが右工場を新式有効ならしむるには今後約十箇年間に二千七百萬留の經費を要し都合よく行くもドレッドノート型戰艦を竣成せしむるには七箇年の日子を要すべく而も其竣成の曉には巨艦は既に舊式に屬し用を爲さゞるべしと（十三日着）

▲墺國皇帝の臨御

維納市長ドクトルヒユル氏は逝去し墺國皇帝は諸太公と共に其の葬儀に列席すべし（同上）

▲獨逸宰相の訪問

獨逸宰相は耶蘇復活祭には羅馬に滯在し三月二十二日を以て伊國皇帝に謁見すべし（同上）

浦鹽電報

▲浦鹽要塞の不備

極東報は又極東の現狀と題し沿海州に現在の二倍即ち四個師團十萬の兵を維持せずんば資源地を後貝加爾に置くの今日到底日本兵の上陸に備へ難しとて浦鹽要塞の不備を暴き冷罵を加へたり（十三日着）

雜報

安重根の懺悔談

（ウイルヘルムの談）

仁川港に一昨十三日大連より入港せし安東丸にて曩に伊藤公を暗殺したる安重根の洪神父ウイルヘルム氏來仁せり氏の親しく語る處に依れば本月二日安重根の郷里なる黄海道信川郡淸溪洞を發足し安奉線により同七日旅順に着八、九、十、十一の四日間同地に滯在して重根に會見したるが其二日目の會見を爲したる際右ヘルム氏は安に向ひ世界の平和的偉人を殺害せし罪惡を責め且つ事今日に至り如何共詮方なければ今は唯だ後悔の涙を呑んで天國に歸せよと說きたるに渠れ重根は洪神父の言を諒容し悔恨の涙滂沱として語るらく伊藤公を殺害せしは今日にして思へば事ろ罪深く惡しかりけるよ遮莫开は私怨の爲めにあらず國家的觀念より兇行を敢てしたるものなれば私に以て快としたるが日本人は邦家の柱石たる伊藤公を自分が殺害せしにも拘はらず其取扱ひの丁重にして至れり盡せるは感佩措く能はざる處なりとて之れを嘆稱し洪神父はカドリック教最大の禮としてパン及び洋酒を天帝に捧げ其パンを安に與へて曰く汝の罪惡は之にて消滅したれば聖上なる人物に歸して深く刑に就けよと說教したるに安は大に打ち歡びつゝ今自分の着用せる衣類は伊藤公を狙擊したる罪惡の血潮が附着し居れば此上の御慈悲に願はくば潔淨無垢なる白き韓服を送附するよう郷里に傳へられたしと賴み韓人は日本人の見るが如く怯懦の者にあらず自分の兇行を敢てしたると同一の觀念を抱けるもの多ければ今後共日本人の胸中に此感を銘記せられたしと語りたりと因に安の從弟安明根は洪神父に會見の結果旅順に行かず一昨十三日歸郷せり

船舶法と約定書

韓政府は十四日船舶法船舶檢查法船舶積量測度法の三法律を發布せり右に就き光武九年八月十三日吾が公使と韓政府との間に訂結せる韓國沿海及內河航行に關する約定書は船舶法の規定と均衡を得ざる條項あるを以て該法律の効果を全からしむる爲め韓政府は統監府の承認を求め約定書の第二條第二項を刪除し第三條を「日本船舶は韓國法令の定むる處に從ひ韓國船舶と同樣なる船舶を韓國海關に納付す」と改訂し右諸法律施行の日より實行せしむる事となれりと

遣韓隊と年交代

韓國派遣隊は從來二年交代なりしが二年兵役制實施以來斯くては新入兵をして充分教練を施すの遑なきに除隊となり豫後備編入後到底有事の用に耐へざるを慮かり今後は滿韓共に一年交代となし且つ之が編制も可成各隊より混成し特種組織の下に派遣すべしと云ふ之が爲めに渡邊少將の率ゆる臨時遣韓隊も來る六月を以て滿一箇年駐劄に就き同時に交代あるべしと

●實業學校設置方針

本年學部に於ける實業學校に關する施設は既報の如く大邱、平壤、全州及咸興に各道立の實業學校を設立せしめ學部特別指導の下に比較的完全なる實業教育を施さしむる爲め此四校に對しては學部より經常費の內へ六千圓以內を與ふることゝし既に大邱、平壤、全州の學校には去る十一日設置の許可を與へたるが此外光州、晉州、海州、公州にも前四校に次ぐべき道立實業學校の計畫あり是又學部より相當の補助を與へ其の計畫を遂行せしむる筈にて以上の外既設の實業學校は官立に仁川、公立に釜山、定州、濟州島、私立に咸興一の數校ありて新設計劃中にあるものは春川、群山、統營其他數校

下洞、於義洞に、實
月より開始する由なる
始さるべき全國土地調
べき測量技術員、平務
にて施設する由にして
の要員を養成する爲め官
外國語學校及大邱實業
養成機關を臨時設置する

●度量衡販賣者

韓政府度量衡法の發布以來
其の販賣許可を出願せしも
に達せしが當局者の方針を聞
する僅濫りに許可する時は將
り頗る至難なる可きを以て最初
に審査の後是を許可し漸次需要に
て增加せしむる豫定なりとか尙ほ內
よりの輸入に關して未だ同法を解せ
るものあり誤りたる出願者多數にし
當局者も其の繁に堪へざれば今後出願せんとする者は充分同法を咀嚼して爲す可く然して度量衡器の種類は夥しき多數なるが是は種類別に依るに非ずして販賣者の指名あれば其者の販賣範圍內の何種類を問はざるものなれば出願者は此邊の注意最も肝要なりと

●大韓教會報と當局

名を布教に藉り不穩の議論を逞ふせるアンダウード主催大韓教會報に就ては當局者は右は其配下に屬せる韓人の所爲にして該文を解せざる彼の與り知らざる處なればとて暫らく之を寬大視し尙ほ續行するに於ては一歩も假借せず嚴重に之を取締るべき方針なりと云へるが元來米國に於ては宣教師の政治に干與するを嚴戒し政府は之が爲めに重要なる訓令を發したる事あり斯かる次第なれば此頃在京中の布教總監督ハリス博士の如きは彼の暴論を見て眉を顰め痛く其不法頑迷を嘆息し居れりと

●財産整理局の存續

土地調査局官制は愈々一兩日中の官報を以て公布直に開設せらるる筈なるが之と同時に臨時財産整理局は當然廢止せらる可きやに傳ふるものあれども確聞する處によれば該局は國有財産の整理を爲さんが爲め設置せるものにして今回新設の土地調查局とは其目的を異にせるを以て全然廢局するまでには尙ほ多少の時日を要すべし現に導掌の所管に屬せる國有田畑の如き未だ何等の整理を遂げ得ざるを以て之が完成を見るまでは依然該局は存續す可く唯其規模に於ては多少縮小を爲すべしと

●漁業法周知の方法

農商工部に於ては昨年四月より施行せられたる漁業法を韓人に周知せしむる爲めに從來種々の方法を施したるも未知の者多く其爲め三月一日までに出願

當
任
理
に
部陸
て目下

●デ
實業補習學校
して漢城府にか
關する法令未だ御
校名若しくは職員等
準據すべきものなきを
する法令を發布する由

●普通學校の所

既報したる如く內部直轄
校八校は漢城府に所轄替へ名稱を公立普通學校に變更したる旨昨十四日の官報を以て發布せられたり

●免許漁業會の審查

別項記載の如く菊地商工局長は今十五日歸京するを以て農商工部にては十六日より免許漁業審査會を開き漁季の迫りたる分より漸次處分すると云ふ

●開城出張所の引繼

韓銀開城出張所は今回廢止せられ營業一切は該地漢湖農工銀行支店繼承し過日度支部吏員立會の下に引繼を了せり

●水雷艇の仁川出港

仁川港に碇泊中なりし雲雀、鶉、鷺は十二日午前八時旅順へ向け錨拔せり

●早大校外生募集

常に幾万の校外生を有し、教育界第一流の博士學士數十名を講師とせる『早稻田中學講義』及び『早稻田商業講義』は多大の刷新を

圓等を
ゝき本年の治
圓なるが是に對す
に就きて當局間に於ても議二途に岐れ一は京城街路改正に當てんとし一は地方一般の治道に充てんとの意向なるが前者の說に據れば今日に於ける京城街路は極て不規則にして發展に伴はず是が改造を要するは極て急設の事なるのみならず今日過渡期に於て是が改造を緩ふするに於ては土地購入の上に於て益不利の地に立たざるべからず云々一面地方說は例により農民の窮苦を楯に賴りに急切を主張せり如是所說各其見を殊にし其何れに決定さるべきやは明かならざれども當局は既に詳細を統監に具し今は唯だ統監の意見一つにて其何れかに決定さるべき筈なるが當局間に於ても京城說頗る勢力を有せるが如き狀況なれば或は本年度より京城市街改正の擧を見るに至らんか尙は假令ひ京城說にして採決さるゝに至るとも費用全部を悉く京城に支出するにあらずして其幾分は無論地方治道にも

●西陸軍大尉入京 源雄氏は十三日入京浦尾旅館に投宿す

●戶田忠正氏入京 平壤區裁判所判事の同氏は十二日入京不知火旅館投宿

●西裁判所長入京 平壤地方裁判所長の氏は十二日入京不知火旅館に投宿

●有本辨護士入京 鎭南浦なる有本源次郞氏は十三日入京山本旅館に投宿

●庵谷忱氏の入京 安東新報記者の氏は十二日入京京城ホテルに投宿せり

●武田少將の歸任 入京中なりし平壤煉炭所長の氏は十二日平壤に歸任す

●沖田錦城氏の訃 曩に大邱新聞經營中氏野理事官と衝突の結果退韓處分の不幸に遭ひたる沖田錦城氏は此程より病氣に罹り鄕里佐賀にいて靜養中なりしが遂に去る九日死去したる由

龍山通信

（十四日 支局發）

▲既報來る二十七日東京に召集の豫定なりし師團長會議は四月五日延期され隨て木越第六師團長の上京期も變更されたるが期日は尙未定▲鎭南浦行連絡船は去十二日より京義線直通列車と接

のです、
が大切と見へる、長
れまでにして京城日報に忠義立てをせねばならぬのかしら▲京城取引所を設置する由は既報せしが右は事實に近づき去る十三日の夜其發起人會を開いた而して取引物件の種類は有價證券、米豆、麥其他牛皮、棉布、棉糸等で既に申請の手續を爲たそうだ▲李學宰、閔泳禹等が伊藤公の銅像を建設せんと運動せる由は屢々報じたが彼等の爲す事は殆ど誠實なく且つ據金大部分を入費に算入しあるを以て其筋にては不許可としたにも不拘彼等は飽迄之を建設せんとて曩きに神戶市民の爲め引き摺り廻はされたる伊藤公の銅像觀察の爲め近々渡日するそうだ、シッコイ銅像屋共ではある哩▲日本の第一艦隊は遠くヒリツピン附近迄遊弋し、北米電報は亞細亞艦隊の新組織を報導す、而して米國觀光團は續々として日本に來る、世の中は盡瀕り解からぬ、解からぬ處が面白いのだ。

妖婦櫛卷お銀（一）

滿韓臺灣は元より 米本國を荒せし女

去る頃より通信管理局の官舍を左に見し老人亭の片邊りに油氣のなき洗ひ髮を藁で結んで脊に垂れ赤縞双子の半天を伊達卷姿の上に羽織り怠う肱を張る懐中手の纖婚々々と雪駄穿きにて今日此頃のまだ寒風を何處を吹くかと云はぬ許りに女だてらの傲酒の醜態は頰赤らめて徐ろに其處等邊たりを散步する

一癖ある氣の**女**あり容顏元より嬋を作り一顰魚尾を轉ずれば百眉生ずる態の妖婦の本來面目にして品もあれば一笑の皓齒正に千金の艶は競う麗質はまさしく一瞥以て石部の金さんを惱殺すべき程の力あり左れど一度彼の女の**額邊**を幽かに橫ぎれる**一線**の**刀痕**に想見せば慄然として冷汗腋下を浸すの感あるべし抑も此の女何處の何者にして是れが額邊の刀痕の**由來や奈何**先づ徐に彼の女が既往の歴史に遡って記さん

去る三十五年中の事門司港の沖仲仕所謂**權藏**と呼ぶ不頼漢等の中に立交はりて**怯す臆せず**男仕事の荒業を稼業となして人に知られたる**銀**と云ふ女あり當年の年齒漸く十八歳當時まだ山家育ちの垢拔はせねど持って生れし容顏は忽ち評判の種となって何しろ對手は酢でも蒟蒻でも食へぬ荒男共の袖褄索く者數限りなければ流石機には**南洋**を股に掛けて**櫛卷お銀**と迄唄はるゝ程の女だけ其時既に蛇は寸にしての氣を現はし寄る者片つ端しから彈ねて退ける見幕と一つは人に遇るまじの共喧嘩の爲め漸く鬼に食はるゝ憂を免れしのみか何日しか姐御と誰れ云ふ共なく**意氣**な名稱さへ冠せらるゝに至りたるが時しも翌三十六年の三月の事お銀は毎の如く沖仕事にと出懸けし先は歐洲航路の某丸にて是れぞお銀が**出世の因**と云ふは丁度お銀が仕事中フトその艶やかに凛とせし眼光に想ひを寄せし同船の船長**メリー某**と呼ぶ米人ありされ銀元より女ながらも野心ある只者ならねば早くもメリーの胸中を見て取り落花流水の情を示せばメリーも夫れと首肯きて遂に其の夜兩人は割なき**契りを結**ぶに至りたり斯くてより七日目同船の荷役も濟みければ愈々翌日出帆の其の夜となりければ兼てより斯く斯くと心に組みし**計畫**僅かの金を渡されし位にては其儘濟す筈あるべき遂に其夜は船長室に泊り込み脊せど賺せど動かばこそ夜は翌けて出帆間際となりけれどお銀はイッカな降船せぬにぞ茲にメリーも我を折りてその儘門司を出帆するに至りたり是ぞお銀が**初一念**漸く其の芽を吹きしなり

全北の火事

▽家屋三十二戸燒失す 去る一日高山郡東上面ツツジ里に出火あり家屋三十二戸燒失韓人男二名及び家畜六燒死したる旨其筋へ電報ありたり

日韓大懇親會

▽來會者無慮三百餘名 仁川日韓人大懇親會は一昨十三日午後三時より八坂樓に於て開催されしが會せし日韓官民の數は三百餘名に達し先づ萩谷籌夫氏は發起人を代表して開會の辭を述べ次で金府尹及び韓人商業會議所書記長韓相愚氏は一場の所感を語り四時より開宴せしが數十名の日韓藝妓は酒間を斡旋し余興として日韓妓の舞踊及び伊東文夫一派の寄附に係る奏樂等あり互ひに胸襟を開きて融和し散會したるは午後六時頃なりし

●日韓戀のしがらみ

▽女は酌婦男は韓人の板場 太平町通りの二葉亭と云ふは主婦の無情が種となって三面の御厄介となりし事も一再にあらざるが其の二葉亭に梅子とて些度見らるゝ酌婦あり可く稼ぎ可く客を曳く間こそれ內儀の機嫌も斜ならざりしが去年末より病氣に罹りて寝ると云うは丁度七十餘日か間枕の揚らぬ次第となり隨って樓主側の扱ひ方も漸くにして慘酷となり梅子は始終墓なき身を嘆きて病床に泣き暮し居たりしが茲に同樓の板場職を掌どれる日本通の韓人あり這奴中々氣の利きし男にて樓主が梅子に對する薄情を見て陰に廻っては彼れ是れ梅子の世話をなし居たりし處人の情に渇し居たる梅子は其の親切を身に沁々嬉しく思ひ何日しか互ひの眼附が替り遂に割なき仲とはなれり斯かる事とは樓主を始め他の酌婦迄一向に氣の附かざりしが阿漕が浦に引く網も度重なるに顯はれて何日しか梅ちゃんと板場さんとは怪しいと云ふ噂が人の口の端に立ちしよりさらでも諾かぬた內儀の何とて聞捨てになし置くべき遠慮なく兩人の訊問開始と矢張り噂は事實にて確と聞き迄判然せしより怒るまい事か散々兩人を責め上し果て女は七十何圓と云ふ金の鬪りし事故詮方なく對手の韓人板場は只ッた今出て往けと云ふ宣告に何と云ひ譯の爲もなく兩者目と目で別れして放逐されしはつい四五日前の事也と

●**身から出た錆** 廣島縣豐田郡岡濱町の藤原又吉(三八)と呼ぶ石工は一昨年渡韓以來定州にて津田組の配下となり就業中の處冬季結氷となるや工事も中止となりしより何とか就職の道を講ぜんものと一昨々十二日入京せしも一厘の持合せもなき爲め止宿する事さへ出來ざるより保護方を南署へ申出でたれど取調の結果は有る時任せに使ひ果せし果ての身から出た錆と解り厚く說諭されて翌朝立去らしめたりとは困った男なり

●**御苑拜觀** 御苑內の博物館動物園植物苑の設備緒に就き春陽の好氣節なるを以て來る十九日(土曜)午後二時より官民の重なる者に拜觀を許さるゝ由にて宮內大臣より夫々案內狀を發せられたりと

●**五雲會** 同會にては例の如く來る廿日の第三日曜日をトし同日午前十時より大和町梅の家に於て第三十九回目の能狂言開會の由なるが其の番組は左の如しと
▲嵐山 田中氏、ツ寺田氏、池田氏▲采女 中村氏、霜島氏▲朝長 波多江氏、ツ淺井氏、吉住氏、ツ武川氏▲藤 長氏、秋山氏▲百萬 野村氏 子藤川氏、澁谷氏▲葵上 島氏、ミ增戶氏、兒島氏、松寺氏▲善知鳥 本田氏、母安西氏、加納氏

●**酌婦の健康診斷** 南部署管內の料理店飲食店の仲居酌婦健康診斷の結果は仲居五十三名に對して有毒者二十四名酌婦三十二名に對して有毒者十八名にして而して入院を要する者は仲居十一名酌婦三名なりしと

●**土曜日曜の新町** 同廓土日兩曜の登樓客は二百一名にして其の消費金高は一千七圓五十三錢なり

●**迷子** 一昨十三日午後二時頃明治町二丁目村田雜貨店前に四歲位の小兒迷兒となり居りしを發見最寄り交番にて保護中の處同六時に至り其の引取人判明し引渡したるが右は同町三丁目小林重吉の小兒なりし由

●**演藝會の兵士招待** 京城高等演藝會にては十五日午後六時より龍山第十三聯隊兵士を招待し其勞を慰すべしと

目と耳

▲**壽座** 初日以來より大好評を拍し居れる同座の大坂新派劇曾我廼家一派明日の替り狂言は左の通りなり
一番目 御祝儀乘合船 一場
二番目 意外の折箱 四場
三番目 初旅 二場
四番目 戀の英文 三場
五番目 忠臣藏 幕なし
(大序より七段目迄が四十七分間)

▲●**京城座**● 同座本晚の替り狂言は「壯夫の犯罪」と題する通し物にして其の役割は左に
中山憲兵(伊井)書生(花井)憲兵屯署長(川崎)仲居お時(金澤)藝者染葉(桂木)船頭禿助(田中)繁樹豐之助(高島)車夫善吉(上田)金太(巽部)巡査(湖)車夫(八島)同(藤井)茶亭(秋岡)車夫(光田)善吉妻(三好)江口憲兵、野々村代議士(美崎)淸水(瀨川)

▲**仁川歌舞伎座** 同座本十五日の伊東文夫一派の替り狂言は一番目「正直者」二番目は得意の「土屋主稅」なりと

●**淨土宗の靑年會** 本十五日午後七時三十分明治町淨土宗開教院に於て例の如く靑年會講演開會の筈なるが其の演題は「慰藉なる生活」水谷開教使「自巳の感想」會友の一人なりと因に來る十九日が第三土曜なるも都合によりて本日に操り上げたる由

●**朝顏種子の配布** 朝顏は各地の園藝界に於て盛んに栽培せるが該種は千變萬化極りなき性質なれば其培養に苦しむなり今回は觀木栽培に研究の結果變化を防ぎ三百余種の中盆養に適する五寸咲以上の大々輪優等種類四十種を撰拔し詳細なる栽培法を添て博く要望者には送費二十一錢にて長野縣下高井郡延德村高花園より送種する由

壽座の曾我廼家

▽命の洗濯には持て來い 去る十二日より壽座に開演せる喜劇界の御大曾我廼家五郎、十郎一座より分離したる朝比奈、辨慶一座は非常なる好人氣を以て迎へられつゝある同座の特長と云ふは彼の新俳優の演る喜劇の如く單調ならず又二〇加のクスグラズ其中間を通って而かも新舊兩方を演じ眞面目に演じて科白で笑はせると云ふ一種の妙味である、殊に演物は何れも本家の曾我廼家種なれば作に於て遺憾なく、臺詞と、臺辭と、筋とに依って自然に觀者の頤を解かし決して野卑なる言辭を弄し、徒らに滑稽のみを敢てするさ云ふものでない、既に演じた中にても雪姫物語り、式三番叟暗鬪、盛坂杯は頗る振ったもの殊に昨夜演じたる忠臣藏の如き僅かに四十七分と五十秒で序幕より七段迄を通すは、其の作の奇妙なる感服の至りである、兎に角理想的好劇を觀る能はざる當地抔では只耳目を樂ますといふ點に於ては絕好の者といふべし(○生)

▲平民文庫▼

▲十三日の午後八時より九時迄の間南大門驛一等待合室に陣取って衆人の目を瞬らしめたる美人の一連があった此所に云ふ美人は所謂新聞美人であるから其の心算で讀んで載きたい▲藝者にしては容貌が美過ぎる仲居にしては服裝が美過ぎるお孃さんにしては瀟洒を使はぬ夫れなら人の女房かと思へば左樣でもないトして見ればだ淫賣婦に相違ない▲丸いのがあり長いのがあり隆いのがあり低いのがあり各人各樣なる其の美人連の鼻の中に一つ丈け障子のないのがある如何に瞬氣に向ふたからとて鼻の障子まで取り外すとは少々氣が早いなされ方ハナハナ殘念至極である▲而して其の夏向鼻の所有者は赤豆色の縮緬三つ紋付を着て御座った▲ト丈けでは判るまい此の紋付たる仲間の共用品であるから明日は又誰れが着て居るやら判ったものでない然れば其の抱へ主の名と當人の姓名を申し上げた方が確かであらう▲抱へ主は太平町の二葉亭フガフガは……フガフガは……何も怨みのある理由ではなし失れまで

云ふのはヲヒノノクなヒヨーなからヒヨシまヒヨウ(風聞子)▲十時頃僕が其の二葉の前を通ったら車夫が九人計り同家に押し込んで賃錢が少ないとて我耶々々云って居たウ仲居君だら出て來て「チョツソよ別嬪さんのオリクリを見たからチヨツソよ」と云ったが成程車賃の足し前位にはなるだらうアノ位の面なら(小僧)●▲秋草生君少々時候外れで困るから季節々々のものを投書して下さい歡迎します(係)▲軍司令部紀念祝祭の時翔翠の文之助婆さん兵士の假裝ダンスへ飛入りをした上手い拙いちやない兎に角此の婆さんは流石に傑い所がある若い妓達は逆も々々(醉客)▲凡そ京龍仁間の宴會と云ふ宴會に其の姿を見ざることなきは仁川測候所長和田白頭翁である和田君の頭髮も口髭も白くなったのは此の宴會に勤の過ぎる爲だと云ふものがあるがマサカ(ロハ黨)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

三月十五日舊二月四日●一白大安己卯 建△一白●新築及改築の事効なし詐術詭計を加へられ易し旅行凶△二黑●新事及相談依頼婚姻養子の事談凶衝突爭論あらん△三碧●收利若くは勢力增進の日とす事業始め及婚約を結ぶに吉△四綠●願適の日なり婚姻入學披露事業始め宜し△五黃●業務執行に失態あらん何紛爭盜害防ぐべし△六白●好報の音信に接し賣買上利益あり訴訟裁判には凶△七赤●子孫又は使用人の事に留意すべし其他快事の日なり△八白●爭論多し紛失盜害を防ぎ巧言令色に乘せらるゝ勿れ△九紫●勞して効なし新事凶農林の事には適好の月とす

●**天氣豫報**(自十四日午後六時至十五日午後六時)
東風の晴後曇
十三日(華氏) 最高溫度 四六、〇 最低溫度 二〇、三

▲無料紹介欄▼

人事部

●店員雇入　十四五歲の者希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)

●小供入用　但十五歲以下至急入用　龍山元町三　日韓組米店(電三四三)

●被雇度　三十四歲貨物取扱及通關手續に經驗あり多少英語を解す會社又は商店諸官衙を望む　氏名在社(一〇)

●農園(野菜類)協同者を求む但し經驗ある確實なる人　電話一二四二番方　ないとう

物件部

●電話讓渡又は貸付　九何〇番面接面談に限る　本町四　贊化堂藥店

●貸家　平家一戶建間數四間及長家一戶間數三間場所南大門外吉野町

●貸家平家　總坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし　電話七四番へ

●求貸家　永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温帳ならは最佳　氏名在社

●韓藥書籍讓渡　日韓來使用紀念韓藥書安價讓渡たし　氏名在社(九)

廣告

入院隨意　菅醫院　京城西小門通六番戶　電話改番　一三一五

神戶貧生分院　京城梅毒病院　京城相生町(南門通横)
◎花柳病專門並、痔(注射療法)　(電話一二九四)
●入院隨意●　院長　醫學得業士　廣田鉾平

世界一のかぜ藥　全國藥店にあり
蛇印　アンチピリン丸
ねつ・はやりかぜ・づつう・りうまちすに大効あり
藥價　五戔・十戔・十五戔・廿五戔
發賣　大阪心齋橋二丁目　丹平商會
本舖　東京日本橋區新乘物町　丹平商會

綿わたワタ　たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ッ角
卸問屋　唐川商店　電話二六一番

早稻田大學講義錄

●本大學講義錄の特色を見よ！
▲敎育界第一流の名士が責任を負うて執筆したる無雙の講義錄▼
▲敎授法は本大學多年の經驗に基き最も斬新にして懇切を極む▼
▲文章平易、趣味豐富、假名附きなれは何人も容易く讀み得べし▼
▲質問掛を特設して懇切に質疑に應答し毫末の遺憾なからしむ▼
▲校外生及び修了者は本大學の入學其他に多大の特典を得べし▼

入學金不要

新學年開始　校外生募集

(第五回)　早稻田中學講義　貳年修了　四月三日一號發行
●每號の附錄として揭ぐる『新天地』には有益、斬新、多趣味の記事充溢せり
▲新時代の青年に完全なる中等敎育の素養を與ふ
●現代和洋諸伯の苦心に成れる美麗の圖畫を每號の口繪として揭載す
▲文部省令中學校敎授細目に準じて組織的に學課を編成す
●講義錄中の難語難句術語地名人名等には懇切なる說明を附し獨習に便す

(第六回)　早稻田商業講義　壹年半修了　四月十日一號發行
●美麗なる寫眞又は商業書式(小切手、手形、證劵等)を每號の口繪に揭載す
▲商業敎育の素養を與へ活商人を養成する機關
●商業雜誌に等しき有益多趣味の附錄『小天地』を每號の講義錄に添ふ
▲商業經營に必要なる學課は悉く之を網羅したり
●詳細なる總頭註釋を施して難語難句術語等を說明し聊の遺憾無らしむ

●高等國民教育・政治經濟科・法律科・文學科は五月開始す　臨時入學を許す

◉◉無料　見本つき規則書　送呈◉◉

東京牛込早稻田　早稻田大學出版部　振替東京一二一三

入院隨意　中島醫院　京城壽町三丁目(電話三七八番)　院主醫學得業士　中島貞信

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金　參百萬圓
積立及繰越金　九拾五萬圓
京城南大門通　株式會社十八銀行京城支店(電話四二〇)
本店　長崎市濱町
支店　京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
出張所
韓國日本其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金　一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

營業科目
諸官衙御用品調達
和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デシン　穀物食鹽　諸染料類　ノ達
委託販賣
東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山釜山鹽資合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所　東京築地十番　京橋南電新橋三　倉町一丁目六九二

辯護士　特許辯理士　岩田仙宗
京城明治町二丁目(佛國教會前)
電話三五四番

特約販賣
味噌醬油製造元　漬物問屋
大上商店
京城本町五丁目
(電話二五一番)
自製　和洋酒、罐詰、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、墳辛、日本食鹽各種特約販賣
尙御註文に依り商品切手調進仕候

紙と印刷
諸紙　和洋帳簿　印刷　各種製本
諸官衙御用　播本商店
京城本町六丁目　電話百拾番

資本金　一千萬圓
積立金　五百四十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番　六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店　東京市日本橋區兜町
支店及出張所　大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

蒸氣　牛乳　平山牧場
京城大和町一丁目
電話一三一

齒科治療
本町六丁目
ドクトル　中村安子
(蕎そば横町)電話一五八三番

東京足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋　藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

京城ホテル
京城南山町(元日本人倶樂部事)
長電話　一二三
電話　四九二番

胃腸消化新劑
穀粉消化　ヂヤスタリン　錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢　散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
蛋白脂消化勝　ヂグスチン　錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢　散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元
京城光化門通　大島專藏

京城光化門通
淺田洋服店
店主　大島専藏
(電話四百十二番)

韓國銀行
電話(長)一三一二二三　本店用
電話　一、六三三〇　當直用
(長)一三六〇二　度係用
電話　一三〇一六　來客用
三三二六　臨時建築部用
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、安東縣、
爲替取引先
東京、大阪、橫濱、神戶、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山(以上日本)、釜山、公州、光州、晉州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州(以上韓國)、大連、(淸國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ゑり德商店